

## 2021 年度事業報告書

2022 年 8 月

助成プログラム名	日本財団「子ども第三の居場所」事業
事業 ID	2021000588
事業名	千葉県における子ども第三の居場所の開設と運営支援（1 年目）
団体名	公益財団法人 ちばの WA 地域づくり基金

## 1. 事業の目標

千葉県に 2 か所のコミュニティモデルの拠点を設置・運営する団体に組織基盤強化や事業改善、地域連携促進などの伴走支援を行い、助成期間後（4 年目）の事業継続と更なる発展ができるようにすることを目標に本事業を実施する。

- ・2022 年 3 月までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを木更津市に開設する。
- ・2022 年 9 月までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを東金市に開設する。  
(当初計画では 2022 年 7 月に東金市に開設する予定であったがコロナ禍と建設資機材のサプライチェーンの問題等のために開設の工期が延長となった。)
- ・運営開始までに関係各所（自治体・学校・SSW など）へ事業の説明会を実施する。

## 2. 事業実施体制の構築

本事業は、ワンデイシェフかんでんち（木更津市）および NPO 法人 3. 1 1 こども文庫（東金市）が「子ども第三の居場所」をそれぞれ開設して運営を行い、ちばの WA 地域づくり基金は事業所の開設、運営および持続的に事業化を営むための種々の支援業務を行うものである。

なお、ワンデイシェフかんでんちは、2022 年 3 月 1 日付けで法人格を取得し「一般社団法人かんでんち」に改称した。

本事業の作業分担表および事業の概念図を表 1 および図 1 に示す。

表 1 作業分担

組織の名称	担当者の役職・氏名	主な業務
新 一般社団法人かんでんち 旧ワンデイシェフかんでんち	新代表 矢部 牧子 旧代表 大高 涼子	木更津市での施設開設
NPO 法人 3. 1 1 こども文庫	理事 鈴木 孝雄	東金市での施設開設
ちばの WA 地域づくり基金	専務理事 志村 はるみ	開設・運営支援



### 3. 業務工程

今年度の業務工程を表 2 に示す。

表 2 業務工程

業務内容	2021						2022								備考
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
1.「子ども第三の居場所」開設支援(2カ所)															
1) 木更津市							← 設計・監理 11月～3月上旬 施工、検査 →			← 運用					3月開設
2) 東金市							← 設計・監理			3月～8月下旬 施工、検査 →					9月開設
							←								4月～8月プレオープン
2.「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援															
1) 定期面談 月1回		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
2) 研修企画・実施 年3回程度			①		② ③				④						
3) 地域連携会議 年2回程度					① ②										
4) 自治体との連携強化	←														→
5) 講演会									○						

### 4. 事業内容

#### 1) 子ども第三の居場所」開設支援(2カ所)

##### ① 木更津市

当初の計画とおり 2022 年 3 月に 子ども第三の居場所コミュニティモデル「つながるかんでんち」を開設した。

業務経過は以下のとおり。

2021 年

- 8 月 設計監理業務委託締結、設計業務開始
- 10 月 20 日現場説明会、27 日入札
- 11 月 9 日着工、監理業務開始。30 日子ども第三の居場所事業説明会。

2022 年

- 2 月 地域の社会福祉協議会、まちづくり推進会議、自治会に事前説明会を開催
- 3 月 17 日内覧会。子ども第三の居場所「つながるかんでんち」開設  
28 日「つながるかんでんち」運営開始。  
30 日「歌や踊りにふれてみよう会」を開催して専門の音楽講師と子ども達、保護者、地域住民等と交流

##### ② 東金市

開設工事に当たっては、コロナ禍での人手不足や国内外のサプライチェーン問題等による影響を受けて当初予定していた工期より大幅に遅れる可能性があったが、施工者と監理者による事前準備や対策を講じたことで、2022 年 9 月から子ども第三の居場所の運営ができるように開設工事を完了させた。

業務経過は以下のとおり。

2021年

- 8月 建築設計・監理業務委託締結、設計業務開始
- 10月 実施設計業務開始
- 11月 20日 保護者、自治体、地域住民向けに建築事前説明会を開催

2022年

- 2月 1日現場説明会。16日入札。
- 3月 着工、監理業務開始。
- 8月 工事完了。9月から運営ができるように施設整備を行った。
- 9月 2～3日 子ども第三の居場所開所式（予定）  
（2022年4月～8月 既存施設における子ども第三の居場所プレオープンとして運営）

## 2) 「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援

「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営については、木更津市では2022年3月から開始し、東金市では2022年4月から施設が完成するまで、既存の建物を活用して子ども第三の居場所をプレオープンして運営している。木更津市および東金市において団体の運営・組織強化やそれぞれの地域の連携構築を図るための支援を行った。これまでの主な会議等の経過は表3に示すとおりで、当初の計画とおり実施できた。

### ① 定期面談

各団体と毎月定期面談および打合せを行い、進捗状況の確認、業務支援に係る指導・助言を実施した。

### ② 研修

今年度は事業開始前であったため、組織基盤強化、各団体同士の学び合い、他地域の事例からの学び、ボランティア研修（拠点スタッフ対象）、会計・法人運営関係、NPO法人格取得サポート（木更津）、ファンドレイジング・社会的インパクト評価などから求められるテーマを選んで研修を実施して各団体の知見を補った。

### ③ 地域連携会議

自治体、学校、保育園、地域住民（区長、民生児童委員）、社協、企業等を交えた地域連携会議を通じて、事業の周知を図り、活動報告・課題共有・解決策の検討、協力体制構築に係る支援を行った。

### 3) 自治体との連携強化

子どもの支援に関する情報提供、自治体や学校と居場所運営団体の気づきを共有、地域住民への居場所の認知促進、専門的知識、専門家領域のノウハウ提供協力を行うため市役所等の訪問を行った。

### ④ 講演会

これまでの地域連携の成果として2022年3月7日に東金市が共催し、東金市教育委員会および東金市社会福祉協議会が後援した子ども第三の居場所をテーマとした講演会を東金市中央公民館講堂で開催した。

講演会では、ちばのWA地域づくり基金理事長および東金市長の開会あいさつ後に日本財

団の第三の居場所事業の助成を受けている NPO 法人 3. 11 子ども文庫、かんでんち、NPO 法人教育サポート GAA の 3 団体から事業紹介および植草学園短期大学こども未来学科の田村光子准教授による「誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくる」の講演を行って参加者と意見交換を通じて交流を行った。

参加者の概要は、NPO 等非営利団体 32 名、行政 8 名、学校関係 3 名、その他 4 名、発表団体・講師 9 名、スタッフ 5 名(計 61 名)であった。

表 3 会議等の経過

計画		実績		計
会議等の開催	回数・頻度	木更津市	東金市	
定期面談	毎月実施	2021年8月～2022年8月	2021年8月～2022年8月	26回
研修	年3回程度	1回目：9/15 業務運営支援 2回目：11/25 法人設立運営・ 会計管理業務支援 3回目：3/17 運営・会計管理業 務支援	1回目：11/10 運営・会計管理 業務支援 2回目：3/10 運営・会計管理 業務支援	5回
地域連携会議	年2回程度	11/30 木更津市役所、社会福祉協 議会職員との事業説明	11/20 東金市関係機関、社会福 祉協議会職員、保育園、保護者 との事業説明	2回
自治体との連携強化	—	市役所等訪問	市役所等訪問	
講演会	1回	3/7 講演会開催。テーマ「誰一人取り残さない地域子育てコミュニ ティをつくる～子どもの居場所の意義と地域での取り組み～」 講師：植草学園短期大学こども未来学科 准教授 田村光子 共催：東金市 後援：東金市教育委員会・東金市社会福祉協議会 助成：日本財団 場所：東金市中央公民館 講堂（定員100名）		1回

## 5. 今後の取り組み

各拠点の子ども第三の居場所の運用の充実を図るための支援および組織基盤強化の取り組みを通じて、2025年3月までに木更津市および東金市のコミュニティモデル事業がそれぞれの強みを生かした自主事業づくり等により自立を目指した支援を継続的に実施する。